

安全・安心をベースに、自分を「発心」

昨年度、出町中学生のスマートフォン利用に関する実態を調査し、学年議会を中心にスマホと上手に付き合う方法を考え実践しました。その結果、スマホの誘惑に負け、だらだらと使用してしまうこと、何気ない発信で相手を傷つけていることが出町中学生の課題であると分かりました。そこで今年度は、生徒会執行部が中心となり話し合い、①スマホやSNSでの（友達との）繋がりから離れる時間をつくること、②その操作で「何が起きるのか」を想像できることの2つをテーマに全校で取り組みます。

授業だけでなく、学校生活の様々な場面において生徒は協働的に学び合っています。タブレット端末等のICT機器を活用する際には、目には見えない「時間」や「相手の気持ち」を考えるなどの情報モラルを身に付け、自分の気持ちや意見を豊かな感性で表現（「発心」）できる出町中学生を目指します。



令和8年度 目指す生徒の姿

本校では今年度、次の目標を掲げて、教育活動を推進しています。

令和8年度の重点目標

『自分を表現し、互いを尊重できる生徒の育成「自分を発心、みんなを受心」』



重点目標達成のための行動目標

アクションプラン

学校や社会のルールを守って生活している。	(90%以上)
適切な言動により、自分と他者を大切にしている。	(90%以上)
様々な活動で、自分の思いや考えを表現している。	(90%以上)